

やねだん(鹿屋市柳谷集落)

地域おこしに携わったり興味があったりする方なら一度は耳にしたことがある鹿屋市申良町にある柳谷集落「通称『やねだん』」。人口約300人の過疎集落にもかかわらず、地方創生の最先端をいく「やねだん」には、石破地方創生担当大臣や小泉進次郎政務官などの国の重要政策に携わる方のほか、日本中から多くの方が訪れています。そんな全国から注目を浴びている「やねだん」に瀬利寛字のファンクル塾の皆さんと研修に伺いました。



一見するとどこにでもあがる農村風景が広がる集落ですが、やねだんの理念は行政に頼らない「むら」おこしです。国や県の補助金に代わるものは「汗」。すなわち集落活動への全員参加です。「できる人たちだけでやっては長続きしない。住民全員が集まったの活動こそが感動を生む」という活動方針のもと、サツマイモやトウガラシなどの農業生産活動を行い、そのサツマイモを原料にやねだんブランドの焼酎を作り、その結果として毎年650万円の自主財源を確保しています。その自主財源の一部は、高齢者福祉に使われており、75歳以上の方の町内会費は免除とし、逆にその高齢者

には毎年1万円のボーナスを支給するなど、高齢者でも住みやすい地域づくりに取り組んでいます。

今では、そんな地域づくりに興味を持った人たちやカメラマン、画家といった芸術家などもやねだんを訪れており、その中から定住する人も増えているようです。

これほどまでになるには、リーダーの勇気と執念、言葉にはできないぐらいの辛抱や努力があり行動があったと思います。地域を活性化させていくためには、住民全員で自分の地域や町に対する情熱や自信、誇りを、持つことが重要だと認識させられた研修でした。



所長 元栄 吉治

New books

話題の本、入荷しました!



『職場のストレスチェック実践ハンドブック』
中島 明子／著 創元社
義務化された「ストレスチェック制度」の導入・実践方法について分かりやすく解説。実際にメンタルヘルス不調者が出た場合の対応の仕方や、心身の健康増進策のヒントとして、グローバル企業の先進事例も紹介する。



『知識ゼロからの民泊ビジネスがっちり成功術』
鶴岡 真緒／著 ビジネス社
英語ができなくなったり、資金力がなくなったりで大丈夫！登録方法から部屋レイアウトのコツ、人気物件の作り方まで、民泊システム「Airbnb」を利用したゲストハウス経営のノウハウを紹介。

問 町立図書館 電話(93)4356

<http://www3.town.china.lg.jp/index.html>

